

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】令和 3 年 5 月 6 日 (2021.5.6)

【公開番号】特開 2021-48641 (P2021-48641A)  
 【公開日】令和 3 年 3 月 25 日 (2021.3.25)  
 【年通号数】公開・登録公報 2021-015  
 【出願番号】特願 2020-207754 (P2020-207754)  
 【国際特許分類】

H 0 4 M 1/00 (2006.01)

H 0 4 M 3/56 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 M 1/00 H

H 0 4 M 3/56 Z

【手続補正書】  
 【提出日】令和 3 年 3 月 4 日 (2021.3.4)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

第 1 の通信端末と第 2 の通信端末とを備え、当該第 1 及び第 2 の通信端末の間で通話を行う通信システムにおいて、

前記第 1 の通信端末は、当該第 1 の通信端末に対応するマイクを用いて取得した音声データから、複数の断片的な第 1 の発話データを生成して順次送信するとともに、前記複数の断片的な第 1 の発話データを再構築してなる所定フォーマットの第 1 の発話ファイルを生成して記憶し、

前記第 2 の通信端末は、当該第 2 の通信端末に対応するマイクを用いて取得した音声データから、複数の断片的な第 2 の発話データを生成して順次送信するとともに、前記複数の断片的な第 2 の発話データを再構築してなる所定フォーマットの第 2 の発話ファイルを生成して記憶し、

前記第 1 の通信端末は、前記第 2 の発話データを受信して、対応するスピーカーで受信した前記第 2 の発話データを順次再生させ、

前記第 2 の通信端末は、前記第 1 の発話データを受信して、対応するスピーカーで受信した前記第 1 の発話データを順次再生させ、

前記通信システムは、前記第 1 及び第 2 の通信端末に接続される情報処理装置を更に有し、

前記第 1 及び第 2 の通信端末のそれぞれは、記憶したそれぞれの発話ファイルを前記情報処理装置に送信し、

前記情報処理装置は、受信した前記第 1 及び第 2 の発話ファイルを用いて合成音声ファイルを生成する

ことを特徴とする通信システム。

【請求項 2】

前記第 1 の通信端末は、通話終了後または無音であると判定されている状態が所定時間経過した後、前記第 1 の発話ファイルを前記情報処理装置に送信し、

前記第 2 の通信端末は、通話終了後または無音であると判定されている状態が所定時間経過した後、前記第 2 の発話ファイルを前記情報処理装置に送信する

ことを特徴とする請求項 1 に記載の通信システム。

【請求項 3】

前記第 1 の通信端末は、複数の前記第 1 の発話データを含む前記第 1 の発話ファイルを  
随時記憶し、前記第 2 の発話データを含む前記第 2 の発話ファイルは記憶せず、

前記第 2 の通信端末は、複数の前記第 2 の発話データを含む前記第 2 の発話ファイルを  
随時記憶し、前記第 1 の発話データを含む前記第 1 の発話ファイルは記憶しない

ことを特徴とする請求項 1 に記載の通信システム。

【請求項 4】

前記第 1 及び第 2 の通信端末は、前記断片的な発話データそれぞれの、発話開始時間及  
び発話終了時間の少なくとも一方を、前記発話データと関連付けることにより、前記第 1  
及び第 2 の発話ファイルを生成することを特徴とする請求項 1 に記載の通信システム。

【請求項 5】

前記情報処理装置は、前記合成音声ファイルを再生する際に、合成する前記断片的な発  
話データの発話タイミングを調整して、各発話データの音声を重ねないようにすること  
を特徴とする請求項 1 に記載の通信システム。

【請求項 6】

他の通信端末との間で通話を行う通信端末に用いられるプログラムであって、

マイクを用いて音声データを取得する音声データ取得と、

前記音声データ取得で取得された前記音声データから、複数の断片的な第 1 の発話デー  
タを生成する発話データ生成と、

前記発話データ生成で生成された前記第 1 の発話データを順次送信する発話データ送信  
と、

前記複数の断片的な第 1 の発話データを再構築してなる所定フォーマットの第 1 の発話  
ファイルを生成する発話ファイル生成と、

前記他の通信端末によって生成された、複数の断片的な第 2 の発話データを受信する発  
話データ受信と、

前記発話データ受信で受信された前記第 2 の発話データをスピーカーで再生させる発話  
データ再生と、

複数の前記第 1 の発話データを含む前記第 1 の発話ファイルを随時記憶する発話ファイ  
ル記憶と、

前記発話ファイル記憶で記憶された前記第 1 の発話ファイルを、前記通信端末及び前記  
他の通信端末に接続される情報処理装置に送信する発話ファイル送信と

を実行するプログラム。

【請求項 7】

前記発話ファイル送信において、通話終了後または無音であると判定されている状態が  
所定時間経過した後、前記第 1 の発話ファイルを前記情報処理装置に送信することを特徴  
とする請求項 6 に記載のプログラム。

【請求項 8】

断片的な前記第 1 の発話データそれぞれの、発話開始時間及び発話終了時間の少なくと  
も一方を、前記第 1 の発話データと関連付けることにより、前記第 1 の発話ファイルを生  
成する発話データ記憶を実行することを特徴とする請求項 6 に記載のプログラム。

【請求項 9】

第 1 の通信端末と第 2 の通信端末とを備え、当該第 1 及び第 2 の通信端末の間で通話  
を行う通信システムの制御方法において、

前記第 1 の通信端末によって、当該第 1 の通信端末に対応するマイクを用いて取得した  
音声データから、複数の断片的な第 1 の発話データを生成して順次送信するとともに、前  
記複数の断片的な第 1 の発話データを再構築してなる所定フォーマットの第 1 の発話ファ  
イルを生成して記憶し、

前記第 2 の通信端末によって、当該第 2 の通信端末に対応するマイクを用いて取得した  
音声データから、複数の断片的な第 2 の発話データを生成して順次送信するとともに、前

記複数の断片的な第２の発話データを再構築してなる所定フォーマットの第２の発話ファイルを生成して記憶し、

前記第１の通信端末によって、前記第２の発話データを受信して、対応するスピーカーで受信した前記第２の発話データを順次再生させ、

前記第２の通信端末によって、前記第１の発話データを受信して、対応するスピーカーで受信した前記第１の発話データを順次再生させ、

前記通信システムは、前記第１及び第２の通信端末に接続される情報処理装置を更に有し、

前記第１及び第２の通信端末のそれぞれによって、記憶したそれぞれの発話ファイルを前記情報処理装置に送信し、

前記情報処理装置によって、受信した前記第１及び第２の発話ファイルを用いて合成音声ファイルを生成する

ことを特徴とする通信システムの制御方法。

【請求項１０】

前記第１の通信端末によって、通話終了後または無音であると判定されている状態が所定時間経過した後、前記第１の発話ファイルを前記情報処理装置に送信し、

前記第２の通信端末によって、通話終了後または無音であると判定されている状態が所定時間経過した後、前記第２の発話ファイルを前記情報処理装置に送信する

ことを特徴とする請求項９に記載の通信システムの制御方法。

【請求項１１】

前記第１の通信端末によって、複数の前記第１の発話データを含む前記第１の発話ファイルを随時記憶し、前記第２の発話データを含む前記第２の発話ファイルは記憶せず、

前記第２の通信端末によって、複数の前記第２の発話データを含む前記第２の発話ファイルを随時記憶し、前記第１の発話データを含む前記第１の発話ファイルは記憶しないことを特徴とする請求項９に記載の通信システムの制御方法。

【請求項１２】

前記第１及び第２の通信端末によって、前記断片的な発話データそれぞれの、発話開始時間及び発話終了時間の少なくとも一方を、前記発話データと関連付けることにより、前記第１及び第２の発話ファイルを生成することを特徴とする請求項９に記載の通信システムの制御方法。

【請求項１３】

前記情報処理装置によって、前記合成音声ファイルを再生する際に、合成する前記断片的な発話データの発話タイミングを調整して、各発話データの音声を重ねないようにすることを特徴とする請求項９に記載の通信システムの制御方法。

【請求項１４】

第１の通信端末と第２の通信端末との間で通話を行う通信システムにおいて、

前記第１の通信端末に対応するマイクを用いて取得した音声データから生成された、断片的な第１の発話データを順次受信するとともに、前記第２の通信端末に送信して該第２の通信端末に対応するスピーカーで順次再生させ、

前記第２の通信端末に対応するマイクを用いて取得した音声データから生成された、断片的な第２の発話データを順次受信するとともに、前記第１の通信端末に送信して該第１の通信端末に対応するスピーカーで順次再生させ、

複数の前記第１の発話データを再構築してなる所定フォーマットの第１の発話ファイルおよび複数の前記第２の発話データを再構築してなる所定フォーマットの第２の発話ファイルを含む合成音声ファイルを保存することを特徴とする通信システム。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１４

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 1 4 】

そして、本発明は、第 1 の通信端末と第 2 の通信端末とを備え、当該第 1 及び第 2 の通信端末の間で通話を行う通信システムにおいて、前記第 1 の通信端末は、当該第 1 の通信端末に対応するマイクを用いて取得した音声データから、複数の断片的な第 1 の発話データを生成して順次送信するとともに、前記複数の断片的な第 1 の発話データを再構築してなる所定フォーマットの第 1 の発話ファイルを生成して記憶し、前記第 2 の通信端末は、当該第 2 の通信端末に対応するマイクを用いて取得した音声データから、複数の断片的な第 2 の発話データを生成して順次送信するとともに、前記複数の断片的な第 2 の発話データを再構築してなる所定フォーマットの第 2 の発話ファイルを生成して記憶し、前記第 1 の通信端末は、前記第 2 の発話データを受信して、対応するスピーカーで受信した前記第 2 の発話データを順次再生させ、前記第 2 の通信端末は、前記第 1 の発話データを受信して、対応するスピーカーで受信した前記第 1 の発話データを順次再生させ、前記通信システムは、前記第 1 及び第 2 の通信端末に接続される情報処理装置を更に有し、前記第 1 及び第 2 の通信端末のそれぞれは、記憶したそれぞれの発話ファイルを前記情報処理装置に送信し、前記情報処理装置は、受信した前記第 1 及び第 2 の発話ファイルを用いて合成音声ファイルを生成することを特徴とする。